

## リンドウの定植後ジベレリン処理による生育促進効果

### 【1 成果概要】

- (1) リンドウの定植後（2週間後）に、苗に対してジベレリン（GA）処理をすると、株が大きくなります（図1）。



図1 いわてLB-3号の定植年の生育状況（左：無処理、右：GA処理）  
H28.6.15定植、H28.6.29GA処理、H28.10.7撮影

- (2) 定植後（2週間後）のジベレリン処理による生育促進効果には品種間差がみられます（表1）。特に、「いわてLB-3号」及び「アルタ」では、定植3年目においてジベレリン処理の効果が高いです。

表1 リンドウの定植後（2週間後）のジベレリン処理による生育促進効果

品種名（早晩性）	立茎数	2年目 開花期	収穫本数		GA処理の優位性 <sup>注</sup>	
			2年目	3年目	2年目	3年目
いわて夢あおい （極早生種）	なし	なし	なし	なし	—	—
いわて夢ぎんが （極早生種）	増加	前進	上位規格 減少	なし	△	—
いわてEB-2号 （早生種）	増加	前進	上位規格 やや減少	なし	△	—
いわてMB-2号 （中生種）	増加	なし	上位規格 やや増加	なし	○	—
いわてLB-3号 （晩生種）	増加	前進	なし	上位規格 大幅増加	△	◎
いわてLB-4号 （晩生種）	増加	なし	上位規格 やや増加	なし	○	—
アルタ （極晩生種）	増加	なし	なし	上位規格 大幅増加	—	◎

注 ◎：無処理に比べて大きく優位、○：優位、△：一長一短がある、—：なし

### 【2 留意事項】

- (1) 本試験は、農業研究センター畑圃場（北上市）での結果です。なお、うね立て時にクロルピクリンによる土壌消毒を実施しています。
- (2) 本試験では、晩秋時に芽土を被せて越冬芽を保護しており、極早生種を含めて、ジベレリン処理による株落ちはほとんど確認されません。

### 【3 適応対象】

農業普及員、営農指導員